

【教育目標】 未来をひらく豊かな社会をめざして  
 ◎ 自ら進んで学ぼう ○思いやりの心 感動する心をもとう ○たくましく 心と体をきたえよう

※評価は4段階(A…9割以上達成、B…8割以上達成、C…5割以上達成、D…達成5割未満)

目指す学校像	評価項目(=中長期的目標)	学校評価計画		評価結果	学校評価報告 / 自己評価			
		目標種	今年度の重点目標と方策		評価方法・目標水準	評価		
						自己評価	関係者評価	最終評価
(上段)○学校関係者評価の概要及び意見 (下段)●考察及び、次年度への課題と解決策								
◎感動あふれる学校	○確かな学力の向上	成果目標	①思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫。 ②全国学力・学習状況調査の各教科や英語スピーキングテストの正答率の向上。	①総合的な学習の時間を中心にプレゼンテーション・発表活動を充実させ、年に1回以上保護者や地域の方の前でPCを用いた発表する機会を設定する。 ②各教科において全国学力・学習状況調査や英語スピーキングテストの平均正答率を上回ることを目指す。	2年生 職場体験で発表を行う。 平均正答率が上回った	B A	○生徒一人一人にタブレットPCを使用させて効果的に活用させているように感じられた。 ○学力が着実に高まっていることが分かります。 ○落ち着いた学校生活の中で集中して授業を受けている様子が見られます。 ○個々のやる気スイッチをONにするよう今後も取り組みたい。 ○テスト前、質問教室など教員の丁寧な取組があった。 ○学力の向上は、補習による成果だと思います。先生方のご尽力のおかげだと思います。生徒も成績が良くなればますます学習に力を入れるのではないのでしょうか。 ●全国学力調査分析の結果、国数理は全国平均を上回り、国数は都平均、理は都平均を上回った。3年生 国、数、理、QUANケートから分析、共通理解し来年度につなげた。 ●【年間・コマ50分】テスト前の質問教室60コマ、夏休み自習教室13コマ、放課後学習教室57コマ、夏季・冬季休業中学習教室10コマ、夏休み補充教室7コマを実施し、学力向上につなげた。来年度は、学力の定着のため、家庭学習の習慣化に取り組み。 ●研究は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、学習指導要領に示す「主体的で対話的な深い学び」を実現する取組であり、町内小中学校の実践及び、児童・生徒の発達段階に応じた教育活動の参考になるものと考えている。	
		取組目標	①思考力・判断力・表現力を高める授業の展開。 ②テスト前の質問教室や、放課後の学習教室、休業中の補充教室の実施。	①全教員が研究主題に基づいた研究授業1回以上取り組む。授業の中でタブレットPCを効果的に活用できた ②テスト前の質問教室は全教科で行う。また、休業中の学習教室は年間15日以上実施する。放課後学習教室を毎週火曜日と水曜日に開催する。	授業の中で、タブレットPCを効果的に活用できた 年間15日以上実施	A A		
	○自尊感情を高め、学校生活の充実を図る	成果目標	①体育祭、音楽会、職場体験における生徒の表現力を向上。 ②一人一人に適した卒業後の進路決定。	①保護者アンケートで、各行事で感動したと回答する割合を80%以上にする。 ②卒業式までに生徒の進路先を100%決定する。	77.8% 進路決定100%	B A		
		取組目標	①体育祭、音楽会に生徒全員参加。 ②進学講演会、進路説明会の充実。	①体育祭、合唱祭に生徒全員参加率を100%にする。 ②夏季休業中を利用して生徒が2校以上高校訪問を行う。更に、進路説明会保護者の参加率を90%以上にする。	参加率 90 % 以上 夏季休業中2校以上69% 進路説明会 3年71%	A C		
◎道徳教育が充実している学校	○人権尊重の意識の醸成・自他を尊重する心や態度の育成	成果目標	①人権尊重に関する研究授業の実施。 ②人権作文への積極的な取組。	①生徒アンケートで、悪口、言葉の暴力や意地悪をしなかったと答える生徒を90%以上にする。 ②人権作文に取り組ませ、生徒の作文提出率を100%とする。	アンケート 81.8% 作文提出率 86 %	B B	○道徳教育、人権教育が適切に行われています。 ○基本、大久野の子供たちは優しい子が多く、その中でも気づいたことは見逃さず、先生方のご指導ありがとうございます。 ○悪口、言葉の暴力の判断する線引きが難しい。 ○左記の①は、表に出にくい(出しにくい)内容で集計が難しいと思います。 ○道徳に関する教育がこれからはますます重要不可欠になってくると思われるので、授業数を増やしていく必要があると感じます。 ○心配がないようであっても、人権問題は継続的な取組が必要である。 ○いじめの側の心にも何かあるはずなので丁寧な聞き取りをして、両方の心寄り添ってほしいと思います ●生徒アンケートにて、悪口言葉の暴力はなかったか81.8%、挨拶礼儀等基本的な生活習慣はできていたか90.1%、社会規範を守る態度や思いやりの心が育ちましたか88.3%と、肯定的な意見が多く、生徒の落ち着いた様子が見られました。 ●人権作文では、全学年117名の応募をし、作文委員会賞1名、会長賞1名が受賞した。また、朝礼の校長講話の中で、道徳の例を取りあげるとし、考える道徳、議論する道徳を行い充実を図り、道徳授業地区公開講座につなげた。来年度、更に自己肯定感をあげるための工夫を考えていきたい。	
		取組目標	①道徳授業の充実と円滑な評価の工夫。 ②いじめに関する実態調査の充実による問題解決。	①道徳の評価を学期ごとに3回行う。4人グループでの話し合い活動を取り入れ 考える道徳、議論する道徳を行う。 ②年3回のふれあい月間終了時に質問紙調査を行い、記載事項については聞き取り調査も実施し、問題解決に当たる。	評価は毎学期実施。グループ活動を取り入れている。 3回の実態調査を行い、タイムリーに生徒への聞き取りができた。	B A		
	○保護者や地域との連携の推進	成果目標	①学校の情報や生徒の様子の周知。 ②学校行事、学校公開の積極的な公開の推進。	①保護者アンケートにおいて、分かりやすく伝えられていると答える保護者の割合を90%以上にする。中学校から小学校への出前授業(英語と数学)を実施する。 ②学校行事における地域からの参加者のアンケートで満足したと回答する率を90%以上とする。	アンケート 83% アンケート 86.3%	B B		
		取組目標	①全ての判断基準を「生徒ファースト」 ②開かれた教育課程の推進。	①決められたルールの中で先ず、生徒に得かどうか、教育的効果を考えて中、教員の働き方改革を考慮しつつ、保護者・地域の理解を得る。 ②保護者アンケートで教育課程が周知されていると回答する割合を80%以上とする。	アンケート 74.7% アンケート 72.6%	C B		
◎真に信頼される学校	○組織的な学校運営の推進	成果目標	①主幹教諭を軸とした組織的な学校運営の推進。 ②研究指定校2年目として校内研修、授業改善の推進。	①自己評価で組織的な運営ができたと答える教員の割合を90%以上にする。 ②2月に2年次の発表会を全クラスで授業公開する。校内研修会を3回以上開催する。外部講師を招聘し、研修会で講評及び指導を受ける。	教員の自己申告の学校運営から 平均81% 年間3回の研究授業を3回以上開催する。外部講師を招聘し、研修会を受けた	B A	○授業中は自由な様子が見えて良い学校です。 ○コロナ禍において各種行事の開催が非常に難しい中ではあるが、無事に開催ができ素晴らしいことである。 ○保護者の来校ももっと増やせるよう、難しいが取り組みたい。 ○PTA・地域との連携については、アフターコロナで、どこまでもできるかが大切だと思います。 ○作品展を見て驚きました。色使い・デザイン・技術的にもとても落ち着いた作品を見て、生徒たち、学校の充実した状況が見えるようでした。 ○情報発信が適切に行われ、説明責任が果たされていると感じました。 ○教育課程の周知は、保護者として分かつていれば子供と学校の話が一歩踏み込めることである。 ○経営方針は子供を介してのことなので、理解してもらうには分かりやすい説明が必要だと思います。 ●今年度の全ての行事において感染症対策をとりながらできる限り通常に戻していくことを目標に進めてきたことで、以前の資料を見返しながら実施でき、公開もすることができた。学校の情報は、学校だより、学年だより、行事でのすぐメールで各家庭に生徒の様子を周知できた。 ●学校経営方針や教育課程の理解や周知が、保護者に分かりやすく発信できていなかった。生徒の姿をともに、具体的な教育活動と連動し、焦点化させたことをいろいろな機会でも繰り返し情報発信していく必要性を考える。	
		取組目標	①経営計画の具現化に向けた取組の推進。 ②研究テーマに沿った教科部会の充実。	①毎朝の経営会議で3名の主幹教諭への指示・伝達を行うことで、学校経営への参画をさせ、各分掌及び学年による若手教員に対するOJTを充実させる。 ②教科部会を月に1回以上開き、校内研修会にて各教科から研究について提案させ、日の出町指定校(2年次)のリーフレットは1月中旬に完成させる。	経営会議は毎日行えたが若手教員へのOJTは十分ではなかった 日の出町指定校として、全小中の教員に発表した	C A		
	○組織的な学校運営の推進	成果目標	①主幹教諭を軸とした組織的な学校運営の推進。 ②研究指定校2年目として校内研修、授業改善の推進。	①自己評価で組織的な運営ができたと答える教員の割合を90%以上にする。 ②2月に2年次の発表会を全クラスで授業公開する。校内研修会を3回以上開催する。外部講師を招聘し、研修会で講評及び指導を受ける。	教員の自己申告の学校運営から 平均81% 年間3回の研究授業を3回以上開催する。外部講師を招聘し、研修会を受けた	B A		
		取組目標	①経営計画の具現化に向けた取組の推進。 ②研究テーマに沿った教科部会の充実。	①毎朝の経営会議で3名の主幹教諭への指示・伝達を行うことで、学校経営への参画をさせ、各分掌及び学年による若手教員に対するOJTを充実させる。 ②教科部会を月に1回以上開き、校内研修会にて各教科から研究について提案させ、日の出町指定校(2年次)のリーフレットは1月中旬に完成させる。	経営会議は毎日行えたが若手教員へのOJTは十分ではなかった 日の出町指定校として、全小中の教員に発表した	C A		